

第1号議案 平成27年度 事業報告書

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

I 事業期間

平成27年4月1日 ～ 平成28年3月31日

II 事業の成果

設立14年目として、ISO普及の支援活動を継続してきた。ISO9001、ISO14001の新規格改定が実施され、新規格への移行準備が本格化しており、MSの関心度が上がる傾向がみられる。また、会員拡大、コンサル事業の推進が今後期待できる状況にある。当初の自己宣言型認定事業後の拡大が進んでいないが、セミナー事業等に関して新規格の勉強会・研修会を開催するなど多くの参加者があり、ISOの有効活用が関心を得る状況が進展している。特に、滋賀県環境保全協会と連携して勉強会を実施したことにより参加者が増加し、新規格の理解が進む成果となった。

会員拡大では、滋賀県に企業が賛助会員として1社が参加され、EMSの新規審査員が正会員として増加した。運営体制等は、昨年と同様であり、定期的に理事会が実施できた。

III 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

(1) セミナー事業

滋賀県環境保全協と連携して、無料の新規格勉強会を滋賀、京都、大阪で計6回開催し、約200名が参加した。また、有料の研修会を2回開催し、ISO9001では5名、ISO14001では2名の参加があった。また、滋賀県環境保全協会主催の地域環境保全研修会において、新規格の概要を解説して改訂規格の普及に努めた。今後の新規格移行の事業進展に期待ができる状況である。

(2) コンサル事業

・無料相談

【内 容】構築・運用の無料相談

【実施場所】相談先企業において実施

→QMSの相談、EMSの内部監査相談があり、企業先訪問を2社行った。うち1社が賛助会員になっていただき、支援を継続している。

・企業支援

【内 容】構築・運用コンサル

【実施場所】QMS支援は、その後継続している。EMS支援は、賛助会員になり、内部監査代行の依頼が実現した。

(3) ISO 監査事業

1) 【内 容】第三者による内部監査代行 (ISO14001、ISO9001)

【実施場所】1社に訪問し今年度の臨時監査と定期監査の代行を実施。

2) 【内 容】自己宣言型ISOの認定及び認定更新

【実施場所】新たなISO9001の自己宣言型監査事業の相談があり、前向きでの実施が検討されている。

IV 社員総会の開催状況

平成27年度総会は、平成27年5月30日(土)に長岡京市バンビオ1番館創作室2で開催、16名(正会員24名の内)が参加し、平成26年度事業報告書、事業活動計算書、財産目録、貸借対照表の承認事項を承認した。また、27年度の事業計画書、予算書案について議論し、承認をした。

V 理事会その他の役員会の開催状況

理事会は、2ヶ月に1度の開催となり、偶数月の適当な曜日を理事会時に打ち合わせにより定めて、以下の日程で実施した。

平成27年度

第1回	2015.04.27(月)	18:00~19:30	長岡京市バンビオ1番館	学習室1
第2回	2015.06.26(金)	17:30~19:00	長岡京市バンビオ1番館	MR1
第3回	2015.08.28(金)	17:30~20:00	長岡京市バンビオ1番館	学習室2
第4回	2015.10.30(金)	17:30~19:00	長岡京市バンビオ1番館	学習室2
第5回	2015.12.19(金)	18:00~18:30	長岡京市バンビオ1番館	MR2
第6回	2016.02.27(土)	17:00~18:00	長岡京市バンビオ1番館	MR2

第2号議案 平成27年度 特定非営利活動に係る事業活動計算書

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

平成27年4月 1日 から 平成28年 3月31日

(単位 円)

科 目	決算	今年度予算	差違	備考
I 経常収益				
1 入会金				
正会員入会金収入	10,000	100,000	-90,000	岸氏1名入会
賛助会員入会金収入	20,000	100,000	-80,000	(株)堀川化成1社入会
2 寄付金		0	0	
会員寄付	0			
その他寄付	0			
3 事業収益				
セミナー事業	60,000	200,000	-140,000	QMSの5名分、EMSは未収(15,000円)
コンサル事業	0	140,000	-140,000	
監 査事業	243,560	500,000	-256,440	
4 その他収益				
受取利息	53			
当期経常収益 合計(A)	333,613	1,040,000	-706,387	
II 経常費用				
1 事業費				
(1)人件費	160,000	460,000	-300,000	
(2)その他経費				
会議費	22,227	70,000	-47,773	
旅費交通費	78,980	90,000	-11,020	研修会、監査講師交通費
広報費	29,699	100,000	-70,301	さくらレンタルサーバー料、更新料
印刷費	60,000	40,000	20,000	研修会テキスト作成費含む
事務費	3,783	30,000	-26,217	プリンターインキ代1,493円を含む
通信費	1,790	10,000	-8,210	
支払手数料等	3,268	5,000	-1,732	印紙代等含む
その他経費 計	199,747	345,000	-145,253	
事業費 計	359,747	805,000	-445,253	
2 管理費				
(1)人件費	0	20,000	-20,000	事務アルバイト費等
(2)その他経費				
会議費	14,086	20,000	-5,914	会場費 7,700円 お茶代等6,386円
旅費交通費	23,260	40,000	-16,740	理事会交通費(改訂後上限3000円)
印刷費	0	30,000	-30,000	
事務費	0	30,000	-30,000	
通信費	0	10,000	-10,000	
支払手数料	108	5,000	-4,892	
その他経費 計	37,454	135,000		
(3) 予備費	0	40,000	-40,000	
管理費 計	37,454	195,000		
当期経常費用 合計(B)	397,201	1,000,000	-602,799	

当期經常増減額(A)－(B)＝(E)	-63,588	40,000		
Ⅲ 經常外収益 固定資産売却益等 經常外収益 合計(C)				
Ⅳ 經常外費用 固定資産売却損等 經常外費用 合計(D)				
当期經常増減額(E)＋(C)－(D)	-63,588	40,000		
前期繰越正味財産額	331,815	331,815		
次期繰越正味財産額	268,227	371,815		

平成27年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

平成28年 3月 31日現在

(単位 円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金			
普通預金	255,269		
未収金	15,000		
流動資産合計		270,269	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			270,269
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金			
預り金	2,042		
流動負債合計		2,042	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			2,042
3 正味財産の部			
前期正味財産		331,815	
当期正味財産増加額		-63,588	
正味財産合計			268,227
負債及び正味財産合計			270,269

平成27年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

平成28年 3月 31日現在

(単位 円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金			
普通預金	255,269		
未収金	15,000		
流動資産合計		270,269	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			270,269
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金			
預り金	2,042		
流動負債合計		2,042	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			2,042
3 正味財産の部			
前期正味財産		331,815	
当期正味財産増加額		-63,588	
正味財産合計			268,227
負債及び正味財産合計			270,269

第3号議案 平成28年度事業計画書

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

I 事業の実施方針

- ・平成28年度は、ISO14001, ISO9001の規格移行が具体化する年度であり、移行審査準備としての対応が求められる。新規格の解説や改善方法を普及することを目指す。
- ・事業活動としては、改訂新規格に関連したセミナーやコンサルに力を集中し、同時に自己宣言型ISOの認定監査を拡大普及する。昨年度と同様に省エネ支援を始め、企業の要望と支援内容を多様化して進める。
- ・ISOの認証済企業へのアプローチを滋賀県環境保全協会と連携し、滋賀県での更新作業の支援を強化し、有料研修会の実施、自己宣言型ISOの認定やISOのスリム化、見直し、「見える化」、電力コスト削減、IT化促進の改善を呼びかける。
- ・また、ISO関連分野としてエネルギーマネジメントシステムの普及、省エネ活動、節電事業に努力をする。
- ・広報的な協力に関して公的な団体、組織との連携を強化する。

II 事業の実施に関する事項

1 特定非営利活動に係る事業

(1) セミナー事業

【内 容】ISO改訂新規格の移行セミナー、新規格解説セミナー

【実施日時】随時実施予定（概ね有料4回 無料2回）

【事業の対象者】ISO取得済企業のISO担当者、ISOの構築に興味のある方

【収 入】20万円（5000円×10人×4回）

【支 出】講師料（有料8万円 無料2万円） 交通費1万円

印刷費 1万円 会議費3万円 計15万円

(2) コンサル事業

- ・無料ISO相談、無料省エネ診断等

【内 容】構築・運用の無料相談

【実施場所】電話相談、企業先訪問

【事業の対象者、方法】要構築希望個人又は団体：電話、メール相談

【収 入】0円

【支 出】講師謝金5万円（1回5,000円） 交通費2万円

省エネ相談・診断等の交通費は、相談企業の実費負担とする。

- ・企業支援

【内 容】ISOコンサル（移行更新、スリム化、有効活用）

【実施場所】要支援希望団体

【実施日時】適時

【事業の対象者】ネットによる要請を受けた希望団体

【収 入】7万円×2社 = 14万円

【支 出】講師料1社5万円×2社 = 10万円

会議費1万円 交通費等：1万円 合計12万円

（コンサルは概ね1日7時間対応を想定）

(3) ISO 監査事業

【内 容】 第三者による自己宣言型 I S O 認定の内部監査及び内部監査の代行

【実施場所】 要構築希望団体

【実施日時】 適時

【事業の対象者】 要内部監査希望団体

【収 入】 10 万円 (1 日/回) × 4 社 = 40 万円

認定書発行費用 5 万円 × 2 社 = 10 万円

合計 50 万円

【支 出】 講師料 1 社 6 万円(1 日/回) × 4 社 = 24 万円

成約謝金 4 万円(新規) 会議費 2 万円 交通費 4 万円 事務費 3 万円

印刷費 1 万円 通信費 1 万円

認定維持内部監査チェック人件費 1.5 万 × 2 社 = 3 万円

合計 42 万円

(4) 情報発信・広報事業

【内 容】 H P を更新し、情報発信に努める。メールによる内部監査代行の宣伝
自己宣言型認定監査の普及、ISO 改訂情報を P R

【収 入】 0 円

【支 出】 10 万円 (レンタルサーバー使用料等 1 万円 H P 更新メンテ費 5 万円

会議費 1 万円 交通費 1 万円、印刷費等 2 万円)

第4号議案 平成28年度 特定非営利活動に係る事業活動予算書

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

平成28年 4月 1日から 平成29年 3月31日

(単位 円)

科 目	予算	前年度予算	差違	備考
I 経常収益				
1 入会金				
正会員入会金収入	100,000	100,000	0	10人見込み
賛助会員入会金収入	100,000	100,000	0	5社見込み
2 寄付金				
会員寄付	0	0	0	
その他寄付	0	0	0	
3 事業収益				
セミナー事業	200,000	200,000	0	4回予定、40人見込み
コンサル事業	140,000	140,000	0	2社見込み
監 査事業	500,000	500,000	0	2社見込み
4 その他収益				
受取利息	0	0	0	
当期経常収益 合計(A)	1,040,000	1,040,000	0	
II 経常費用				
1 事業費				
(1)人件費	520,000	460,000	60,000	セミナー、監査代行講師
(2)その他経費				
会議費	70,000	70,000	0	
旅費交通費	90,000	90,000	0	営業旅費を含む
広報費	100,000	100,000	0	レンタルサーバー料等 HP更新メンテ費料 成約謝金
印刷費	40,000	40,000	0	
事務費	30,000	30,000	0	
通信費	10,000	10,000	0	
支払手数料等	5,000	5,000	0	印紙代含む
その他経費 計	345,000	345,000	0	
事業費 計	865,000	805,000	60,000	
2 管理費				
(1)人件費	20,000	20,000	0	事務アルバイト費等
(2)その他経費				
会議費	20,000	20,000	0	会場費、お茶代等
旅費交通費	40,000	40,000	0	理事会交通費
印刷費	20,000	30,000	-10,000	総会等資料コピー代
事務費	20,000	30,000	-10,000	事務用品、封筒
通信費	10,000	10,000	0	
支払手数料等	5,000	5,000	0	
その他経費 計	115,000	135,000	-20,000	
(3) 予備費	40,000	40,000	0	

管理費	計	175,000	195,000	-20,000
当期經常費用	合計(B)	1,040,000	1,000,000	40,000
当期經常増減額(A) - (B) = (E)		0	40,000	-40,000
Ⅲ 經常外収益				
固定資産売却益等				
經常外収益	合計(C)	0		
Ⅳ 經常外費用				
固定資産売却損等				
經常外費用	合計(D)	0		
当期經常増減額(E) + (C) - (D)		0		
前期繰越正味財産額		268,227	331,815	
次期繰越正味財産額		268,227		

第5号議案 役員改選の件

理事	飯田 卓美	再任
副理事長	小幡 範雄	再任
理事	小澤裕美子	再任
副理事長	中野 孝	再任
専務理事	西田 一雄	再任
理事	橋本 温子	再任
理事	堀田 義久	再任
理事	正木 準	再任
理事長	若井郁次郎	再任
監事	吉川 了平	再任